

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5 年 1 月 5 日

事業所名 放課後デイサービスラスカル

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	10	0	備品の配置場所	指導に必要なツールを常に導線の良い場所・連携がとりやすい場所に置くように工夫する
	2	職員の配置数は適切である	9	1	法令に基づく指定基準に加え、加配職員を配置しています	個別に訓練が必要な利用者を受け入れた際の職員配置を課題とし、日々検討している
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	8	2		階段や段差がある場所は必ず職員が細心の注意を払い声掛けをしています
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	10	0	月に1度職員全体会議を設けている	月に1度、職員全体会議として2日間日程を設け、業務改善、目標設定の為に会議を行うようにしています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	10	0		ホームページにて公開する事により、保護者の意向を把握し業務改善につなげるよう努力しています
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	10	0	自己評価結果検討会を職員間で設けています	会報でホームページでの公開をアナウンスしています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	8	2		相互評価の結果を踏まえ、反省点、改善点は早急に対処・改善に努めるようにしています。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	10	0	月1回実施	月1回事業所内研修、外部研修は業務に支障のない範囲で参加しています。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	10	0		今年度はコロナの待機期間の関係等で、アセスメントの時期が若干遅れる事もあったので、余裕を持って計画案の作成を実施していきたいと思います
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	10	0	フェイスシートの共有	契約時にフェイスシートにて、適応行動の状況を把握し、共有しています。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	10	0	活動プログラムごとに担当者を決めていきます	1か月毎に活動プログラムを立案し、事前準備をしています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	10	0	同じ活動内容でも、内容や環境を変え取り組んでいます。	各プログラムに対しての反省、課題を検討しながら固定化しないように工夫しています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	9	1	月1～2回野外イベント	季節に応じたイベント(遠足・社会見学)等を企画しその企画に応じた療育支援を心掛けています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	10	0	個別・集団活動を曜日別で設定	集団活動が苦手な子供の計画案をより具体的に皆で検討するよう努力している
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	10	0	午前中に常勤職員でミーティングを行う	支援開始前には、必ずプログラムを確認し、内容・役割分担について確認している
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	10	0	送迎終了後、振り返りを行っている	送迎終了後、支援の振り返りと療育内容や体調確認等を行い、情報共有に努めています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	10	0	療育記録他、療育内容毎の記録	療育記録を必ず当日に記入し、支援内容の反省や改善につなげています
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	8	2	送迎時、又は連絡帳でモニタリングを定期的に行う	年2回保護者面談を行うと同時に、ご家庭での様子を電話連絡で確認しながら、計画の見直しを検討しています
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	10	0	基本活動に加え曜日毎に活動を組み合わせている	基本活動に加え、運動・音楽・水泳等の他、就労訓練等支援を行っています。

関係機関 や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	9	1	担当者が参画できない時は、参画する者に十分に情報を伝えています。	担当者が参画できない時は、子ども達の作品を会議に持参したり、動画を撮影したりして、参画する者が会議で情報を伝えられるよう工夫しています。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	10	0		各学校とは密に連絡を取り合いながら、情報共有を行っている
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	10	0		現在は該当者はいません
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	7	3	就学前の支援会議に出席している	児童発達支援事業所との間では情報共有できているが、地域の幼稚園や保育所等とは連携が薄いので今後は積極的に情報共有できるように努めていく
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	10	0		同法人の就労B型クローバーの職員間では支援内容を情報提供しています
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	8	2		可能な限り研修会に参加するようにします。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	3	7		地域のお祭り等に積極的に参加し、障害のない子供達と触れ合う機会を積極的に作りたいと思います
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	2	8		積極的に参加していきたいと思います。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	10	0	送迎時に状況や課題を伝えて合うようにしている	送迎時等に可能な限り、学校や家庭での様子をお聞きし保護者様とのより一層の情報共有に努めていきます。
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	3	7		保護者様向けの研修会を開催できるよう努めていきます
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	10	0		支援の内容については、契約時に行っているが、今後より細かい支援ができるよう保護者の方と支援内容を共有していくよう努めていきます
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	10	0	悩みや不安があれば、面談や電話で相談を受けている	毎日の連絡帳での保護者様からのメッセージに相談事があれば、職員同士で共有し検討しながら助言している。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	3	7		保護者会の設立を進めていきたいと考えています
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	10	0		より迅速に誠意を持って対応させて頂くよう努めます。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	10	0	定期通信を配布	毎月の定期会報に加え、年度初めに年間活動予定を保護者様向けに発信できるよう検討していきます。
	35	個人情報に十分注意している	10	0		勉強会にて個人情報の取り扱いの徹底を行っている
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	10	0		情報伝達に有効な勉強会・研修会等には積極的に参加していきたいと思います。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	4	6		地域の皆様に事業所に招待し、子供達の発表や作品展示を見て頂けるよう計画しています

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	10	0		マニュアルの見直しを定期的に行い、保護者に最新版を配布するように検討する
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	8	2	年2回避難訓練を行っている	避難訓練の日程を工夫しながら、全員が避難訓練に参加できるように検討する
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	10	0	月1回勉強会の実施	月1回に研修会で虐待防止の認識の再確認を行っています
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	10	0		現在は該当者はいません
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	10	0		保護者様からのフェイスシートを参考に対応しています
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	10	0	ヒヤリハット報告書を作成しています	ヒヤリハット事例を作成し、同時に反省会を実施しています